

2023年度【くるめ品質工学講座】開催のご案内

～ 技術開発の魔法はないが、近道はある ～

■講座概要

品質工学は田口玄一博士により、創設された技術開発の方法論で、海外では「**タグチメソッド**」、日本では「**品質工学**」と呼ばれています。**技術開発、品質向上において不可欠な手法と考え方**として、自動車産業をはじめとする多くの産業分野、企業にて活用されています。

本講座では、品質工学の概要についての講義に加え、演習、事例紹介を行うことで実践的な手法として品質工学を学んで頂きます。品質工学の習得には実践が不可欠であり、講座後半では自社の技術課題を解決するための実験計画を作成し、実験の実施、結果の解析に至るまでを約5ヶ月のスケジュールで実施します。

個別指導による実践経験を積むことで、実務に適用できるレベルまでの習得を目指します。

	品質工学	品質管理
何が違う？	(品質革新の道具) 品質の優れた製品を効率よく開発し続ける 技術部門の力 となる	(品質調査の道具) 品質の優れた製品を大量に作り続ける 生産部門の力 となる

講 師 一般社団法人 佐賀県計量協会 理事長 田中 久 氏
【公益財団法人佐賀県産業振興機構 産学官連携コーディネータ】
1974.4 佐賀県工業試験場（現 佐賀県工業技術センター） 勤務
1982.10 工業技術院計量研究所（現 産業技術総合研究所）で3ヶ月研修
矢野宏博士から実験計画法、SN比について直接指導を受ける
1983-91 品質工学を用いた研究及び民間企業の指導
1992.2 佐賀県品質工学研究会 立ち上げ（研究会は現在も継続して活動中）
2008.4 佐賀県工業技術センター所長（2011.3 退職）
2009 品質工学会貢献賞 受賞

開催日程 令和 5年 9月 14日 ～ 令和 6年 2月 16日 全4日間
裏面のカリキュラムをご覧ください。

対象者 自社の技術課題を有し、品質工学を用いて解決したい技術者及び管理者など
※全日程に参加可能な方。

開催場所 久留米リサーチセンタービル 研修室D（〒839-0864 久留米市百年公園1番1号）

定 員 10名（定員になり次第締め切らせていただきます。）
*自社の課題に取り組む演習を会社ごと実施して頂きますので2名以上での参加を
お勧めします。

参加料 15,000円/人 *オープン・ラボ会員の企業の方は2割減免（12,000円）と致します。

申込方法 右記 QRコードもしくは弊社HPからアクセスして
必要事項をご記入の上、お申し込みください。
※下記（お問合せ先）にご連絡頂ければ参加申込書様式をお送りします



<https://forms.gle/r3464PiBFdbg9pgf6>

申込締切日 令和5年8月31日（木）

お問合せ先 株式会社久留米リサーチ・パーク 研究開発部 長坂
Eメール：nagasaka@krp.ktarn.or.jp
TEL.0942-37-6150 FAX：.0942-37-6119

2023年度【くるめ品質工学講座】カリキュラム

日程	時間	内容
1日目 9/14 (木) 9:00~17:00	7	【基礎講義】 <ul style="list-style-type: none"> ・品質工学の基礎講義（ツールとして使い方を学ぶ） ・SN比の計算方法の概要 ・品質工学活用事例の紹介
2日目 9/15 (金) 9:00~17:00	7	【活用事例紹介】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域企業における品質工学活用事例 2件程度 【演習】 <ul style="list-style-type: none"> ・演習：表計算ソフトを用いた解析シートの作成および解析演習 ・グループ演習：紙ヘリコプターのパラメータ設計 【宿題①についての説明】
【宿題①】 自分が抱える技術課題に品質工学を用いた実験計画の作成 (約60日)		
3日目 11/17 (金) 13:00~17:00	4	【計画発表会】 <ul style="list-style-type: none"> ・各社の実験計画のプレゼンと質疑 ・今後のフォローについて説明 【宿題②についての説明】
【宿題②】 自分が抱える技術課題に品質工学を用いた実験の実施 (約90日)		
4日目 令和6年 2/16 (金) 13:00~17:00	4	【成果発表会】 <ul style="list-style-type: none"> ・各社の実験結果のプレゼンと質疑

◎講師や事務局の都合により日程、時間等を変更する場合がございます。予めご了承ください。
また3日目、4日目の時間は受講人数、テーマ数により調整し、変更する場合があります。